

貴講座/診療科名

## 放射線診断学講座

**問1. 現在の貴講座・診療科に在籍している男女別医師・研究者人数をご記入ください。**

(各医系講座・診療科に送付しておりますので、他講座・他診療科に主たる在籍がある併任者は含めないで下さい)

男性医師数	男性(医師以外)研究者数	女性医師数		(女性研究者以外)数
		子供なし	(妊娠子供中含)	

フルタイム勤務	1) 教授	1			
	2) 准教授	2	1		
	3) 講師	1			
	4) 助教・助手	1		2	2
	5) 医科診療医 (専任)	2		2	
	6) 医科診療医 (社会人大学院生兼任)	4		1	
	7) 大学院生 (専任)		1		
	8) 研究員				
	9) その他1 (職種 : ) その他2 (職種 : )				
短時間勤務	10) 研究生				
	11) その他1 (職種 : 非常勤医師) その他2 (職種 : )	1		1	6
	12) 上記のうち貴講座在籍中に育休を取得した人数				6

講座・診療科内の意思決定

男性	女性	非該当 (○で囲む)
		委員会等なし・その他

**問2. 出身医師・研究者 (事務・技術職員を含まない同門会員等)の男女別人数をご記入ください。**

(多少の誤差はあっても構いませんので、できるだけ非該当にせず人数でご記入ください。)

男性	女性	非該当 (下記の場合○で囲んで下さい)
135	52	不明・その他
3	1	不明・その他
19	1	同門会役員なし・その他

問3. 現在、貴講座・診療科として、大学在籍中の子育て中・子育て希望の女性医師への仕事・家庭両立のための配慮はどの程度されていますでしょうか？該当する欄に○をつけてください。

(3) および (6) は当直免除期間・許容育休期間を決められていればその期間も記入してください)

積極的に配慮・支援	希望がある程度配慮する常に	希望が出た場合、常に	希望があることもある	原則配慮しない	事い非をな該しい（女性医師など）
-----------	---------------	------------	------------	---------	------------------

1) 勤務時間の軽減（時間短縮、フレックスタイム等）					○
2) 仕事量の軽減					○
3) チーム制（複数主治医制）による負担軽減				○	
4) 当直（免除期間：妊娠中・産後（どちらかに○を）～子供が　歳　ヶ月になるまで）					○
5) 子供の病気・学校行事のための有給休暇取得			○		
6) 在籍中の妊娠・出産（挙児希望に対し）				○	
7) 産休明け後の育休取得（最大許容期間：　ヶ月間）				○	

\*上記配慮の代わりにデメリットはありますでしょうか？

- 8) 給与面　なし（）、ある（○）：具体的に（勤務時間に応じた給与のため）  
 9) キャリア面　なし（○）、ある（）：具体的に（）  
 10) その他　なし（○）、ある（）：具体的に（）

\*男性医師が子育て支援を希望した場合、上記を女性医師同様に配慮されますか？

- 11) 同等に配慮（）、少しほれ配慮（○）、男性医師は原則配慮しない（）

\*その他にも貴講座・診療科として在籍女性医師・子育て中医師への支援事項があれば、下記枠にご記入下さい。（当直回数半減、メンターや女性医師親睦会による相談体制がある、など）

女性医師親睦会、ランチタイムセミナー等

問4. 現在、貴講座・診療科として、出身者（=同門会会員）の女性医師の仕事・家庭両立のための配慮はどの程度されていますでしょうか？該当する欄に○をつけてください。

積極的に配慮	希望がある程度配慮する常に	希望が出た場合、常に	希望があることもある	原則配慮しない	人い非事をな該しい（女性医師など）
--------	---------------	------------	------------	---------	-------------------

1) 出身者（関連病院等在籍者）への産休・育休支援（応援医師派遣など）			○		
2) 休業中の女性医師への復帰支援（研修のあっせん、復帰にサポート体制のある勤務を紹介など）					○
3) 人事としての勤務地配慮（夫の勤務地を考慮など）					○

\*男性医師が子育て支援を希望した場合、上記を女性医師同様に配慮されますか？

- 4) 同等に配慮（）、少しほれ配慮（○）、男性医師は原則配慮しない（）

その他にも出身（同門会）女性医師・子育て中医師に配慮している事項があれば、下記枠にアピールして下さい。

同門会をこえた声かけ、情報共有も積極的に検討しています。

➤ (今回の情報提供の試みについてでも、サポートの会の開催時期についてでも、広島県医師会女性医師部会へのご要望・ご意見等ございましたら、下記枠にご自由にご記入ください。

- ・時間的に限定されると参加しづらいことが多いです。
- ・女性医師が本当に困らないと参加しない  
↓  
事前に問題意識を持つてもらう必要があります。
- ・相談窓口のアナウンス、情報提供が乏しい。
- ・多様な働き方、考え方があり、同じ解決法とはいかないことが多い。